

IUHW

The gazette of the International University of Health and Welfare

第24号

発行：学校法人国際医療福祉大学
編集：広報委員会 TEL 0287-24-3000 内線7108



第3回英語スピーチコンテスト
第1位の相野千津恵さん(言語聴覚障害学科)
と大谷学長(記事4ページ)



昨年12月21日、大学クリニックのロビーにおいて、ハンドベル部によるクリスマス・ミニコンサートが行われました。クリニックの利用者もスタッフも、心を洗われるような澄んだ音色に聞き入っていました。



英語スピーチコンテストで熱弁をふるった学生たち
(中央は上位入賞者)



心をこめて演説する学生たち

= 目次 =

ページ	ページ	ページ	ページ
新年によせて・理事長	2	スピーチコンテスト	4
新年によせて・学長	2	国際部	4
お知らせ	2	教務委員会	4
大学院の設置認可について	2	紀要委員会	5
平成11年度学年暦	2	国際交流委員会	5
中国康復中心との通信衛星を介した リハビリテーション医療技術の交信	3	情報化委員会	5
図書館	4	ボランティア委員会	5
出来事	4	学科・センターだより	5
大学来訪者	4	看護学科	5
動物慰霊祭	4	理学療法学科	5
		作業療法学科	6
		言語聴覚障害学科	6
		放射線・情報科学科	6
		医療経営管理学科	6
		医療福祉学科	6
		医学教育センター	6
		語学教育センター	7
		健康管理センター	7
		教員紹介	7
		23号のクイズの正解	7
		当選者発表	7
		編集後記	8
		リレーエッセイ	8
		IUHWクイズ	8

新年によせて



理事長 高木 邦 格
あけましておめでとうございます。開学以来満4年がたち、いよいよ第一回目の卒業生を送り出す年となりました。4年生の皆さんはこれまで多くのことを学びつつ大学の基礎を築いてこられました。まだ国家試験という最後の難関が控えています。幸い、言語聴覚士の試験も今年から行われるようになり、完成年次に保健学部5学科全ての国家資格が揃ったのは大変喜ばしいことでもあります。4年生諸君は資格を得て実地の道に進むにせよ、進学するにせよ、これまでの集大成と思って挑戦してください。21世紀にむけて門出を迎える皆さんが明るい未来をきり拓いていかれることを心より願っています。

今年には大学院が創設され、研究所もいよいよ本格的に活動を開始するなど本学にとって新たなページを開く年でもあります。さらに実習施設ともなる重症心身障害児施設・身体障害者療護施設が大学クリニックに隣接して設置の運びとなり、春には工事が始まります。来年の2月ごろには竣工し、新しい施設が発足する予定です。今年がさらに力強い一歩をふみだす年となりますよう皆さんとともに歩んでいきたいと思っております。

学長から新年によせて



学 長 大 谷 藤 郎
皆さん、明けましておめでとう。今年には私たち国際医療福祉大学にとって、はじめて第一期生が卒業して、国家試験を突破し、就職して、社会に羽ばたかれる記念すべき年です。

なにごともはじめが肝腎、人生も同じで、今がだいじなとき。正月も返上して勉強している4年生の皆さん、苦あれば楽あり、どうぞうまくいくようにと成功を祈っております。

4月から新しく大学院も始まります。それまで大学院設置計画のためにご苦労いただいた方々に感謝申し上げます。

いくら年をとっても今年は何があるのかなと人生の一里塚を考えるのは楽しいものです。

秋には日本公衆衛生学会総会が大分で開催され、30年ちかくWHOマニラ事務局で活躍され今年2月に辞任される予定のドクター・ハンが自分の仕事をふり返って招待講演をされ、私がこの偉大な友人の講演の座長を勤めさせてもらいます。ドクター・ハンはWHO勤務前は40歳になるかならずで韓国保健省の医務局長でした。

お知らせ

◇大学院設置が認可されました

IUHW19号で既にお知らせしましたように、保健学部5学科を基礎とする大学院医療福祉学研究科保健医療学専攻が、昨年12月22日文部省から設置認可をいただきました。

入学定員は54名で、看護学分野、理学療法学分野、作業療法学分野、言語聴覚障害学分野、放射線・情報科学分野にわかれて研究を進めます。

本学の特色は、各分野の学生が互いに他の分野の授業も履修することにより、視野の広い医療福祉専門職や研究者の養成が行える点にあります。

◇平成11年度学年暦

- 4月6日(火) 入学式
7日(水)～9日(金)
オリエンテーション
12日(月) 前期授業開始
5月1日(土) 大学創立記念日
22日(土) 体育祭
7月16日(金) 前期授業終了
19日(月) 前期試験開始
29日(木) 前期試験終了
30日(金) 夏期休業開始
31日(土) 大学説明会
8月4日(水) 大学説明会
28日(土) 大学説明会
9月1日(水) 実習・補講開始
24日(金) 夏期休業終了
27日(月) 後期授業開始
10月23日(土)～24日(日)
大学祭
12月22日(水) 授業終了
24日(金) 冬期休業開始
1月6日(木) 冬期休業終了
7日(金) 授業開始
10日(月) 成人の日
20日(木) 授業終了
21日(金) 後期試験開始
31日(月) 後期試験終了
2月1日(火) 補講・実習予備期間開始
29日(火) 補講・実習予備期間終了
3月1日(水) 春期休業開始
17日(金) 卒業式

[注]

西暦2000年より改正祝日法が実施され、1月の成人の日と10月の体育の日が第二月曜日に移る。これに伴い、西暦2000年には1月10日が成人の日、10月9日が体育の日となる。

◇中国康復中心との通信衛星を介したリハビリテーション医療技術の交信

「J棟の横に、大きなアンテナがあるのをご存じですか。そしてそのアンテナは何のためにあるのかご存じですか。大学の大きな研究プロジェクトの一つでもある「遠隔リハビリテーションシステム構築プロジェクト」の進行状況について紹介させていただきます。

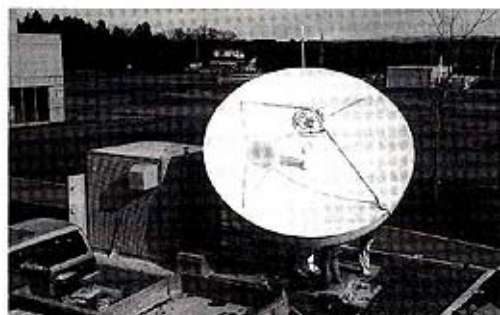
通信放送機構事業の一つとして、上記プロジェクトが平成9年度から本学においてスタートしました。このプロジェクトは、中国北京市にある中国康復中心（中国リハビリテーション研究センター）と本学内那須遠隔リハビリテーションセンター（J棟）とが通信衛星を介して双方向の交信を行う通信技術を研究するものです。



中国との交信風景

交信の内容は、両国のリハビリテーション医療技術の現状を伝え合う教育プログラムです。この通信技術の研究は題材をリハビリテーション医療としたところに新奇性があります。しかもこの題材を伝達する映像は、通信衛星を用いることが質的に必要であるということ为前提にしています。また、この教育プログラムは、双方向の交信ができるため、その場で意見交換や会議を行うことが可能です。具体的には平成9年度は双方の機械設備の整備を行い、教育プログラムの実際的な交信は平成10年8月から行いました。計画では平成10年度（平成10年7月～平成11年6月）は日本からの教育プログラムの送信を中心とし、平成11年度（平成11年7月～平成12年6月）は中国からの教育プログラムの送信が中心となっており、中国医学を学べるのを大いに期待しているところです。本研究は、平成12年度末までにまとめを双方で行い、終了となります。

日本側の本プロジェクトのメンバーは大学の超科的な教職員で組織され、リーダー杉原素子、サブリーダー井原廣一、研究フェロー熊野信雄、金場敏憲、斎藤昭



中国康復中心との通信衛星用アンテナ

彦、城間将江、谷口敬道、濱口豊太、藤沢しげ子、那須リサーチセンター研究員（井原廣一、田辺啓二）、招聘研究員（魯哲）、情報メディア部（映像作成担当）、国際部（特に通訳として陳霞芬）がチームとなって教育プログラムの作成と、交信技術の研究にあたっております。ただし、毎回関係学科・センター、学生ボランティア、その他の関係部署の支援を得て実施しており、平成10年12月16日で3回目の送信を終えました。中国側から送信された教育プログラムについての意見を毎回フィードバックしてもらい、よりよい教育プログラムの作成を目指して、研究を重ねております。毎回テーマリーダーが創意工夫を重ね、情報メディア部・国際部（通訳）の力強い協力を得て送信内容を作成しております。それぞれの送信プログラムは情報メディア部の努力でまとめられ、保管されておりますので教材としても活用できます。今年度は、2月中旬と3月末の2回にわたり、送信・交信を行う予定です。交信当日は、教職員・学生とも見学可能ですので、是非中継現場までお越し下さい。因に、これまでの送信内容は以下の通りです。

- 第1回：平成10年8月：「日本における医療画像の現況」
 テーマリーダー 金場敏憲
- 第2回：平成10年11月：「脳性麻痺の座位保持装置」
 テーマリーダー 谷口敬道
- 第3回：平成10年12月：「脊髄損傷のリハビリテーション」
 テーマリーダー 濱口豊太
- 予定 第4回：平成11年2月：「片麻痺の運動療法」
 テーマリーダー 斎藤昭彦
- 予定 第5回：平成11年3月：「リハビリテーション医療とチームワーク」
 テーマリーダー 杉原素子
 （杉原素子）

◇図書館

欠号雑誌の穴埋め

現在、本学の図書館で所蔵している雑誌には、欠号しているものが幾つもあります。利用者の中には、丁度読みたい号が欠けていて、とても不便な思いをした、という人は少なくないと思います。

今回、その穴を埋めるべく、他大学の図書館から、重複している雑誌を譲っていただくことになりました。中には製本されているものもあり、その数は100冊にも及びます。一度に全て揃えるというわけにはいきませんが、少しでも利用者の皆さんの役に立ち、活用していただけたらと思います。(図書館)

出来事

◇大学来訪者

*平成10年11月30日(月)

栃木県保健・養護教諭部会33名

*平成10年12月3日(木)

栃木県立氏家高等学校上級学校訪問会1年生80名

*平成10年12月10日(木)

芳賀郡市学校保健会保健・養護教諭64名

*平成10年12月22日(火)

福島県立保原高等学校1、2年生50名

*平成11年1月8日(金)

石橋総合病院大和田幸子養護部長他7名

◇動物慰霊祭について

平成10年12月15日18時から、F101教室にて、動物慰霊祭が行われました。当日は、黒澤美枝子先生が司会をされ、理学療法学科、作業療法学科、言語聴覚障害学科の生理学実習の履修者が出席し、各グループ代表による献花、黙祷を行いました。都築正和先生からは、動物慰霊祭の意義や歴史について、先生のご経験を通して、お話しいただきました。また、小林春雄先生からは、米国留学中に、ご自身の子どもの成長期に芽生えた、生き物への思いやりについて、こころ温まるご講話をいただきました。私たちは、生命の大切さを感じはじめた頃の子どもの姿に実習している姿を見られて、「なにしてるの」と尋ねられた時、動物の命をいただいて実習していること、自分が精一杯、学ぼうとしている姿を、その子達が納得できるように伝えることができるだろうか。実習に臨む自分たちの姿を再び、思い、考えさせられる、慰霊祭でした。

(谷口敬道)

◇スピーチコンテスト

第3回学長杯英語スピーチコンテスト開催、優勝は言語聴覚障害学科の紺野千津恵さん

恒例の Speech Contest も3回目となり、12月9日午後6時から学長を迎えて開催されました。2年生全員の参加による予選を勝ち抜いた25名が「心を伝える」演説を目標に熱弁をふるい、E101は大きな拍手に沸きました。放・情4年の林辰晰さんの司会進行のもと、それぞれの努力が見事な結果になりました。ゲスト審査員は紀伊園先生と川口先生にお願いしました。1位は紺野千津恵さん(言語)、2位は永田佳世子さん(看護)、3位は那須敏文さん(放射)でした。入賞者だけではなく25名のみなさん、おめでとうノ(南井紀子)

部・委員会報告

◇国際部

○ケニア医療訓練カレッジ・プロジェクト

本年3月に来日予定の、看護とコンピュータ分野の研修員の受け入れ準備のため、関係機関と折衝開始。

○台湾からの福祉分野研修者の受け入れ

11月16-17日、台湾から23名の福祉業務関係者が来学し、大谷学長、鈴木医療福祉学科長らが講義、一行は、その後12月9日まで国内各地を研修旅行しました。

○中国リハビリテーション研究センター・魯哲さんの研修

魯哲さんが12月7日到着、本年3月25日まで本学の通信衛星による遠隔リハビリテーション構築プロジェクトで研修を受けることになっています。

(長谷川 豊)

◇教務委員会

履修登録の手続きは自分で責任を持つ

本学に入学し、どのような科目をどのように履修していくのかについては、各年度始めのオリエンテーションにおいて教務課並びに各学科で説明を受けています。また、履修の手引きも手渡されています。それでも履修登録手続き不備のための無理難題が学生から教務課に持ち込まれます。一般的に、大学というところは1単位や1科目のみの不履修で留年したり、卒業できないことは当然のこととして生じています。己の不注意を他の所為にすることなく、凛とした態度で、自分の履修登録手続きは自分で責任を持ちましょう。

(杉原素子)

◇紀要委員会

第8回紀要委員会を11月17日(火)に開催いたしました。紀要第3巻については編集作業をほぼ終了し、最終段階での細かい詰めを行っております。また、紀要発送先リストの見直しを並行して行っておりまして、第3巻の発送までに確定する予定です。

紀要第4巻については前号で既にご報告のとおり、投稿希望の調査を実施して多数の応募回答が寄せられ、順調に編集できるものと予想しております。原稿の締切日は本年1月29日となっておりますので、ご執筆には脱稿に向けてのご協力をお願いいたします。投稿規定は本学紀要の最終ページをご参照下さい。

(野原功全)

◇国際交流委員会

(1)今年度国際活動として2～3月に予定していたオーストラリア研修は、諸事情により中止することに決定しました。来年度夏に、ベトナム、アメリカ、中国と同時期に実施する予定です。

(2)留学生との懇親会を、11月17日開催しました。

(3)本年度を締めくくる国際交流親善パーティーを、12月17日(木)6時からレストラン2階で開催しました。学長、留学生、国際ボランティア・研修活動参加学生の代表、留学生ホストファミリー、ご支援いただいた教職員、当委員会メンバーなど、約60名の方々が出席し、交流を深め、楽しい歓談の時を過ごしました。

(田中美子)

◇情報化委員会

インターネットの普及は目覚ましいものがあり、文部省が小学生へのインターネット教育について検討を行っているというニュースも聞こえてきます。本大学においては、教職員のインターネット利用については既に実施しておりますが、学生のみなさんへの対応が遅れており、教育及び利用ともになされていません。そこで、学生のみなさんのインターネット利用の早期実現に向けて、情報化委員会・情報教育センター・情報メディア部で利用のためのインフラ・授業計画などの検討を開始しています。そのスタートとして、学生のみなさんがどの程度インターネットについて興味を持っているか、利用希望があるかなど、インターネット導入のための基礎資料とするためにアンケートを実施しますので、是非協力をお願いします。(梅澤一之)

◇ボランティア委員会

ボランティア・アンケートの実施

1月12日開催の第5回ボランティア委員会で、学内の全学科学生を対象にボランティア活動に関する参加実態や今後の参加希望の有無、ボランティア・スクール開催希望などを把握する目的でアンケートの実施を検討します。

学内では、“あじさいグループ”や“献血推進ABOサークル”をはじめボランティア活動に参加するサークルや個人が熱心に活動を行っていますが、大学全体としてみると参加者はかならずしも多いとはいえません。

その原因はどこにあるのか検討する基礎資料を得ることを目的とするもの。実施に際して皆さんのご協力をよろしくお願いします。(鈴木五郎)

学科・センターだより

◇看護学科

公開学習会を開催中!!

看護学科では、地域の看護職を対象とした公開学習会を開催中です。この学習会は4回シリーズで、現在多くの参加者を得て次の2回が終了しました。

・第1回：平成10年11月27日(金)・28日(土)

「リエゾン精神看護学概論」川名典子氏(聖路加国際病院、リエゾン精神専門看護婦)参加者約50名

・第2回：平成10年12月14日(月)

「ディスチャージプランニング(退院計画)における看護職の課題」福島道子氏(本学助教授)約70名
今後の学習会は、1・2月に開催予定(城ヶ端初子)

◇理学療法学科

4年生は国試の勉強で運動不足ぞみ?

卒論の発表、卒論提出を終え12月初旬から国試の準備に入りました。それに先立ち学科長は「寒稽古は当然、夕方から深夜まで講義を行うノ」と気合いを入れ、実際に夕方6時から夜10時頃までほぼ毎日、夜間の特別講義が行われました。1月から国試対策はグループ別となっています。3年生は機能診断学の口頭試問が終わり、学生も教員も「疲れた」との感想。2年生は検査・測定実習が開始され、初の臨床場面に良い意味で緊張。1月9日にはPT学科恒例の成人式があり、御輿を担ぎ威勢を示した後、教室で厳肅な式が執り行なわれました。(秋山純和)

◇作業療法学科

4年生、総合実習終了。

昨年12月下旬を以て、作業療法学科最後の実習、6週間の総合実習が終了しました。全国各地での孤軍奮闘、さぞかし大変だったろうと思います。本当にお疲れさまでした。上手くいった人もそうでない人も、それぞれの思いを秘めていることと思います。学生の時の臨床経験は、今後、皆さんの作業療法士としての視点、考え方に強く影響を及ぼすものです。心ならずも、そう思う時がきっと来ます。それぞれが体験したこと、感じたことをぜひ後輩たちに伝えていって欲しいと思います。良き先輩たれノ (濱口豊太)

◇言語聴覚障害学科

「言語聴覚士」元年—みんな頑張ろうノ

—昨年の12月に言語聴覚士法が制定され、記念すべき第1回言語聴覚士国家試験が今年の3月28日に行われます。4月末には合格者が発表され、我が国に初めて国家資格としての「言語聴覚士」が誕生します。当然のことながら、4年生だけでなく、現任者である教員も受験します。

言語聴覚障害学科では、全員合格を目指し、3回の模擬試験(12月～2月)と、学外・学内の多くの先生方のご協力を得て国家試験対策講習会(1月)を実施します。まさに学科をあげて猛勉強ノの日々です。

(飯塚直美)

◇放射線・情報科学科

明けましておめでとうございます。開学以来4度目の新年を迎えました。1年生から4年生まで全学年が揃っての新年です。当学科の在籍者数は491名となりました。学生達をマクロ的に観察しますと、4年間の成長ぶりがよく分かります。心身ともに逞しくなり、活動力もすばらしくなっているのに感心します。4年生は国試準備と就職活動に真剣に取り組んでおり、全力を尽くして難関を突破してもらいたいとの思いで一杯です。3年生は臨地実習を無事終了したところで、今から国試を睨んだ勉強を始めてもらいたいし、1、2年生は基礎を固めてもらいたいと思います。

(野原功全)

◇医療経営管理学科

ゼミナール開講にあたって

今春、医療経営管理学科も3年目を迎え、いよいよゼミナール(必修)が開講されます。学生諸君も所属ゼミが決定し、期待や希望、それに第1期生として未知との遭遇にやや複雑な思いも抱いていることでしょう。

ゼミ生は本学科全教員のそれぞれの専門性を踏まえた2年間の指導を受け、その成果を卒業論文としてまとめますが、ゼミ活動は学内の勉強だけではありません。合宿をはじめとする各種イベントの機会を通じたゼミ生相互および教員との全人格的な触れ合いの場でもあります。ゼミナールで大いに学び、社会に巣立つ準備や思い出に残る大学生活の仕上げとしてください。

自主的な取り組みを期待します。(佐藤貴一郎)

◇医療福祉学科

個人面接月間

学科開設2年目の冬、一期生が3年次9月の「医療福祉実習Ⅰ」の実習先を決定する時期を迎えました。冬休みをはさむ6週間、実習担当教員の研究室前には緊張した面持ちで面接に臨む2年生がウロウロ…。早目に来て約束の時間まで廊下でじっと待つ学生が多いなか、寝坊で面接をすっぽかす不届者もいて、教員の不安要因は減ったり増えたりです。じっくり話し合いながら実習の像がつかめるとよいですね。春休みには読書や見学もできるでしょう。

1年生は先輩の動きをみていて下さい。(田澤 薫)

◇医学教育センター

—医学教育について考えること—その4 実習教育

医学教育センターの教員が担当している科目の中に幾つかの実習教育があります。例えば解剖学、生理学などの実習は本学の学生にとっても大きな意味を持つものでしょう。将来医療に直結した業務に携わるために人体の構造と機能について座学で聴講した内容をより身近なものとして体験出来るのです。しかし、効果的な実習教育を行うためには実地教育にあたる場所と教員を確保する必要があります。教員について言えばただ数を増やすことではなく若手の教員を配置して効率的に運用する体制づくりが必要と思います。

(都築正和)

◇語学教育センター

フランス語学習と仏検突破

フランス語は第二外国語に過ぎないといふものの、魅力ある美しさをそなえ、その背景に高度の文化的遺産を感じとれます。毎年相当数の受講生を迎え入れてきましたが、規定の授業時数の少なさも意に介せず、フランス語Ⅱを終了後、仏検3、4級を突破するひとたちが増えてきているのは、本学学生の優秀性を示す証拠です。英検とは社会環境的に異なる意味をもち、仏検合格の事実を履歴書に堂々と記載してよいと考えます。本年度後半から、Ⅱの受講生に対し、数回以上の仏検4級程度の模試をくり返し実施することにしました。(萩原茂久)

◇健康管理センター

お気軽にどうぞ

国際医療福祉大学の健康管理センターとして発足したクリニックですが、評判を聞きつけた近隣の人達の受診が徐々に加え、一般の患者さんが全体の50%を占めるようになり1日の外来患者数もついに200名を超える日が出てきました。その様な現状にあわせてクリニックでは一般の方を対象に健康セミナーを定期的に開催しています。2月10日(水)は大久保先生の担当で「喫煙と肺疾患」の講演があります。一般の方向けの分かり易い講演ですので学生教職員の皆さんもお気軽に聞きにいらして下さい。(米田政志)

教員紹介

(毎号、各学科・センターから1名ずつご紹介頂きます。)

①所属・職位②生年③出身校④専門分野⑤直前の勤め先⑥主要著書ないし論文⑦本校における担当科目⑧趣味

齋藤 恵子(さいとう けいこ)



①看護学科教授②1938年③放送大学④基礎看護学⑤国立栃木病院附属看護学校⑥「臨床実習における看護学生 の精神健康度と学習意欲—臨床指導者・患者並びに他の学生との対人関係場面における学生の心理的影響と対処行動及

び不安感情の分析を通して」

⑦基礎看護学⑧草道(龍生派)茶道(裏千家)三味線、園芸、歌舞伎鑑賞

高杉 栄(たかすぎ さかえ)



①理学療法学科・助手(国際医療福祉病院勤務)②1964年③埼玉医科大学短期大学理学療法学科④成人整形外科疾患・中枢神経疾患他⑤埼玉医科大学付属病院⑦病院での臨床実習指導⑧ランニング・サイクリング。

齋藤 満(さいとう まみ)



①医療福祉学科・講師②1600年(?)③国際基督教大学④臨床心理学・臨床心理士第1600号⑤明治学院大学⑥「遊戯治療における“棒”の治療的役割について」心理臨床学研究8-3⑦臨床心理学、カウンセリング論、社会福祉援助

技術演習他⑧スポーツを見ること(特にサッカー)、映画観賞、音楽鑑賞、絵画観賞

第11回IUHWクイズ当選者発表

多数応募の中から正解者は14名でした。厳正な抽選により成田充徳(放・情4年)さんが第11回IUHWクイズの当選者に決定しました。正解は下記の通りです。ご協力ありがとうございました。

正 解

問1. ③

問2. ②

問3. ②

問1. 餅(もち)の材料として使われないものは?

- ①きび ②うるち米
③もちのき ④わらび

問2. 古くより地方色ある名称ですが、誤ったものは?

- ①柱餅(岩手県) ②やまともち(中国地方)
③ぼんだいもち(北関東地方) ④ひねりもち(山梨県)

問3. 餅(もち)とは関係のないものは?

- ①桜もち ②日もち
③ちまき ④御幣餅

浅木 信安 (あさき のぶやす)



①臨床医学センター・講師②1965年③
日本歯科大学歯学部・大学院歯学研究
科④歯周病学⑤日本歯科大学歯学部歯
周病教室⑥生物学的根面処置法に関す
る研究－血液凝固第XIII因子がフィブ
ロネクチン吸着にあたる影響－

⑦形成外科学・臨床歯科学⑧ドライブ・海釣り

編集後記

学報IUHWは年6回発行されます。本学と歴史を共にし、今号で丸4年、24号目となりました。今後も皆さんの日々の励みとなり、また、良き思い出のアルバムとなるような広報を目指したいと思いますので、どんどんご意見、アイデアをお寄せください。

(飯塚直美)



リレーエッセイ

呼び方の順序

医学教育センター 問藤 方雄

最近では郵便番号なるものがあるが、宛名を県、郡、町村、番地と順序だてて書くことが少なくなってきました。しかし、私達の頭の中は依然としてこのパターンで構成されているので外国に手紙を出す際には用心する必要があります。宛名に関しては日本の(我々の)表示の方が欧米より優れている様です。日時の表現、相手の呼び方にも国民性(?)が現れている様に感じます。前者は月、日を先にするか、年を先にするかであり、後者は称号を先にするか、後にするかです。即ちDr.〇〇と呼ぶか、〇〇先生と呼ぶのとの違いですが、これは何に由来するのでしょうか。

解剖学用語でも筋名などに相異があります。例えば上肢の筋として浅指屈筋とか深指屈筋がありますが、横文字で呼ぶ場合にはその筋の機能である屈筋が先で、次に筋の存在部位ないし機能で最後に浅いか深いかがあります。しかし、漢字は上記の様に細かな指定部位が先にあり次に局在又は機能に関する用語があり、最後に機能がきます。横文字の方が合理的です。しかし、学生の殆どは長指屈筋を決してM. flexor digitorum longusとは憶えてくれません。

次回執筆：宮尾洋子先生(語学教育センター)

IUHWクイズ ー第12弾ー

賞品はなんと旅行ギフト券(8,000円分)!

4年生の就職も大分決まったころだと思えますが、官公庁に限らず民間の一般病院でも公務員試験的なものは結構実施されています。今回はそんな問題。さあ皆でチャレンジ!

問題は3択2問、解答番号を書き込み、事務局窓口外側のメールボックスへ。全問正解者から、抽選で1名の方に旅行ギフト券を差し上げます。応募資格は本学の学生で、1人1通、〆切は2月26日。

キリトル		キ リ ト ル
学科	学年	
名前		
解 答		
問1.		
問2.		
問3.		

問1. 民法で「善意の第三者」という場合の善意とは次のどれか?

- ①故意がないこと
- ②ある事実を知らないこと
- ③過失がないこと

問2. 次の公害病とその原因物質の組み合わせで、誤っているのはどれか?

- ①スモン病ーキノホルム
- ②渡良瀬川鉱害ーすず
- ③イタイイタイ病ーカドミウム